

会社概要

商号 株式会社 平和 (英文社名: Heiwa Corporation)
 本社 〒110-0015 東京都台東区東上野一丁目16番1号
 創業 1949 (昭和24) 年
 設立 1960 (昭和35) 年
 資本金 167億5,500万円

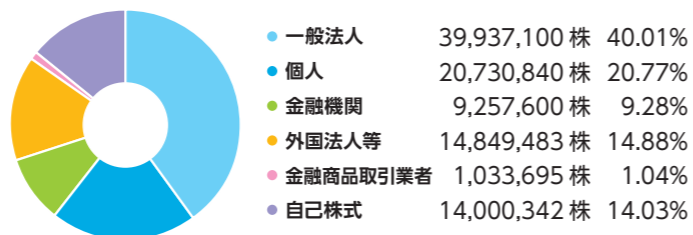
役員
 代表取締役社長 額井 勝也
 代表取締役副社長 諸見里 敏啓
 取締役 池本 泰章
 取締役 太田 裕章
 取締役 宮田 幹男
 取締役 吉野 敏男
 取締役 中田 勝昌
 取締役 提督 隆樹
 取締役 勝又 伸久
 取締役 新兼 井次民喜
 取締役(社外) 山口 孝太
 常勤監査役 川野 廣二
 監査役(社外) 佐藤 武志
 監査役(社外) 遠藤 明哲
 監査役(社外) 江口 雄一郎

事業所 本社、工場(伊勢崎)、北海道、仙台、高崎、東京、名古屋、大阪、広島、福岡 他20営業所

株式の状況

発行可能株式総数 228,903,400株
 発行済株式の総数 99,809,060株
 株主数 14,269名

株式の所有者別状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	手続き書類のご請求方法	音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
期末配当金受領 株主確定日	3月31日	上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第1部
中間配当金受領 株主確定日	9月30日	電子公告により行う 公告掲載URL	http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6412/6412.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
定時株主総会	毎年6月	公告の方法	(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)

お知らせ

- 株主様の住所変更、単元未満株式等の買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関(証券会社等)を経由してお届出いただいております。振込指定のお手続きにつきましては、詳しくは各口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主アンケートご協力をお願い

下記URLにアクセスいただき、アクセスナンバー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただきます。WEBアンケートを実施いたします。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
- ご回答いただいた方の中から抽選で10名様に「黄門ちゃま超寿 開運団子(ゴルフボール)」を進呈させていただきます。



©C.A.L/2014

アクセス方法

PC・スマートフォンから

とうしかねっと 検索 <http://104ka.net/> [アクセスナンバー 6412]

メールから

kabu@req.jpへ空メールをご送信いただき、自動返送されるアンケート回答用のURLからアクセスいただけます。

携帯電話から

QRコード読み取り機能のついたスマートフォン又は携帯電話をお使いの方は、右のQRコードから直接アンケート画面へアクセスできます。



本アンケートは、宝印刷株式会社が発行する個人投資家向け情報誌「ジャパニーズ インベスター」のWEBサイト「投資家ネット」にて実施いたします。宝印刷株式会社については<http://www.takara-print.co.jp/>をご参照ください。ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承認なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

【個人情報の取扱に関して】

お答えいただくアンケートの回答内容・個人情報につきましては、「統計的にデータをまとめた上で分析し、サービスを改善すること」を目的として利用し、個人が特定できる形で利用されることはありません。その他、当社の個人情報に関する取扱に関する詳細は当社の「プライバシーポリシー」(<http://www.heiwanet.co.jp/>)のとおりです。



HEIWA BUSINESS REPORT 2015

第47期 年次報告書
2014.4.1 ▶ 2015.3.31

CONTENTS

01 トップメッセージ

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の全ての項目において、上場以来、最高の業績となりました

04 セグメント情報/トピックス

遊技機事業/ゴルフ事業/その他

06 クローズアップ

開発者インタビュー

パチンコ
「黄門ちゃま超寿 日本漫遊2700km」
パチスロ
「麻雀物語3 役満乱舞の究極大戦」
夢のある開かれた日本最大のプロゴルフトーナメントを目指して「HEIWA・PGM CHAMPIONSHIP」開催

08 株主インフォメーション

PGMホールディングス(株)と株式交換契約を締結
株主優待制度を導入しました

09 財務データ

連結財務諸表/資産関連指標の推移

裏表紙

会社概要・株式の状況

会社概要/株式の状況/株式の所有者別状況/株主メモ

株主アンケートご協力をお願い

「もっと楽しめる未来」をつくるために

1949年に創業し、1960年に設立されたパチンコ・パチスロ機の老舗メーカーである当社は、1988年に業界初の株式店頭登録、1997年には東京証券取引所一部上場を果たすなど業界のフロントランナーとして走り続けてきました。

その後も2007年のパチスロ機メーカー(株)オリンピアとの経営統合や2011年のゴルフ場保有・運営大手のPGMホールディングス(株)の連結子会社化など、常に進化を続けています。

当社はこれからも安定した経営基盤のもと、「もっと楽しめる未来をつくろう」を合言葉にお客様へ楽しい時間を提供し、**総合レジャー企業**を目指します。

平和グループ 総合レジャー企業へ



代表取締役社長
額井 勝也

売上高、営業利益、経常利益、 当期純利益の 全ての項目において、上場以来、 最高の業績となりました

遊技機事業、ゴルフ事業ともに 増収増益を達成

2015年3月期の連結業績は、遊技機事業、ゴルフ事業ともに増収増益を果たし、上場以来最高の業績となりました。特に遊技機事業におけるパチンコ機の販売台数増加が業績全体の伸びを牽引しました。利益面では、ゴルフ事業における利益率が改善したことも寄与し、営業利益は前期比16.2%増、経常利益は同18.8%増、当期純利益は同28.9%増と前期を大きく上回る結果となりました。

市場の状況を振り返りますと、遊技機業界は、依然としてパチンコホールの厳しい経営環境が続き、遊技機メーカー間の販売競争も激しさを増しました。また、2014年9月から一般財団法人保安

第47期 (2015年3月期) の連結業績ハイライト

売上高	1,986 億円	営業利益	428 億円
▲ 前期比 9.4%	▲ 計画比 3.6%	▲ 前期比 16.2%	▲ 計画比 3.4%
経常利益	420 億円	当期純利益	262 億円
▲ 前期比 18.8%	▲ 計画比 1.5%	▲ 前期比 28.9%	▲ 計画比 2.9%

※ 詳細については、P9をご参照ください。

通信協会によるパチスロ機の型式試験方法が変更され、各遊技機メーカーは新試験方法への対応に時間を要していることから、市場全体のパチスロ機販売台数が減少しました。

ゴルフ業界は、天候不順の影響を受けたものの、ゴルフプレーの需要は堅調に推移しました。

パチンコ機の販売台数が大幅に増加

遊技機事業では、パチスロ機の販売台数は低調に推移しましたが、**パチンコ機の販売台数は前期から大幅に増加したことが寄与**し、売上・利益ともに著しい伸びを示しました。

パチンコ機は、「スーパーストリートファイターⅣ CR EDITION」「ルパン三世 主役は銭形」「燃える闘魂アントニオ猪木 格闘技世界一決定戦」等10タイトルの発売に加え、前期に発売した「ルパン三世 消されたルパン」を当期も引き続き販売しました。その結果、販売台数は25万2千台（前期比5万4千台増）となりました。

パチスロ機は、「戦国乙女 剣戟に舞う白き剣聖 西国参戦編」「カウボーイビバップ」「黄門ちゃま喝」等6タイトルを発売し、販売台数は9万2千台（前期比2万8千台減）となりました。

費用面では、商品性向上のための研究開発費が増加したものの、パチスロ機における売上原価の圧縮等が増益に寄与しました。

M&Aによる拡大と収益の極大化に向けて

ゴルフ事業では、新規M&Aによる拡大戦略に基づき、新たに取得したゴルフ場が業績に寄与し、収益の極大化に向けた取り組みも一定の効果が見え始め、**売上の増加とともに大幅な利益拡大**を遂げました。

新規M&Aについては、「総丘カントリー倶楽部」を取得し、「千葉国際カントリークラブ」等3ゴルフ場の再生支援に向けたスポンサー基本合意を締結しました。同時にゴルフ場の売却及び運営受託終了等、ポートフォリオの見直しを実施しました。

また、収益の極大化に向けた取り組みでは、価格戦略部門を強化し、適正な価格の提供を図りつつ、経費コントロールの徹底に努めたことにより、利益は大幅に拡大しました。

PGMホールディングス㈱の完全子会社化へ

当社は2015年5月13日付で、**PGMホールディングス㈱を当社の完全子会社とする株式交換契約（簡易株式交換）**を締結しました。本株式交換は、PGMホールディングス㈱の株主総会で承認を得ることを前提とし、2015年8月1日を効力発生日として実施される予定です。

高齢化に伴うゴルフ人口の減少やゴルフ場の供

給過多による競争激化の中で、PGMホールディングス㈱の収益力を強化し、当社グループ全体の企業価値を向上させていくためには、ゴルフ場の新規M&Aの更なる推進が不可欠です。今回の完全子会社化は、そうした背景を踏まえ、**グループ内の柔軟な資金調達手段を活用したM&A戦略を可能とすることで、中長期的な視点に立ち、果敢な経営を行うことが最大の目的**です。

遊技機事業とゴルフ事業の連携を強化し、安定した高収益体質を構築することで、企業価値の向上を目指してまいります。

株主還元の充実に向けて優待制度を導入

2016年3月期の展開を述べますと、遊技機事業は継続的なヒット機種の新規創出に向けて、トレンド予測の正確性と市場変化への即応を追求し、**差別化・新規性**を意識した**ものづくり**を推進していきます。販売台数は、パチンコ機26万台、パチスロ機10万台を見込んでいます。

ゴルフ事業はM&Aをより強化しつつ、会員特典プログラムの充実等を通じて会員権募集を強化し、さらにゴルフ場の商品価値向上と価格戦略の徹底を図ることで、一層の業績向上に努めます。

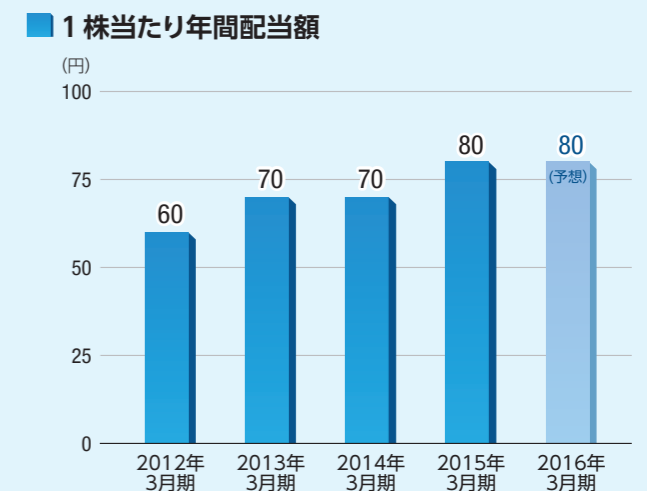
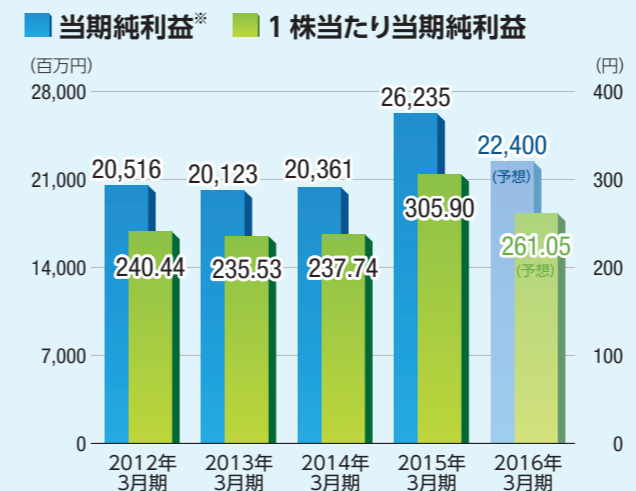
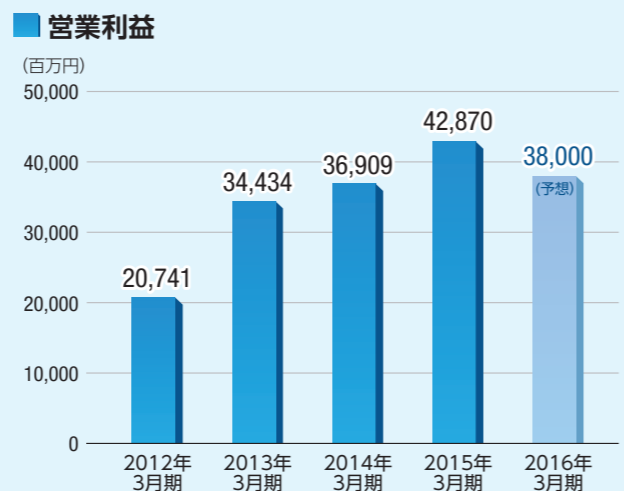
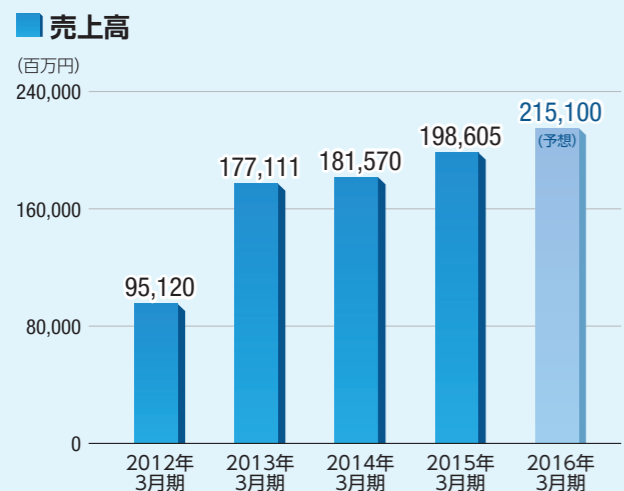
以上により、2016年3月期の連結業績は、売上高2,151億円、営業利益380億円、経常利益368億円、親会社株主に帰属する当期純利益224億円を見込んで



でいます。
 なお今回の期末配当は、1株当たり40円を実施いたしました。これにより中間配当と合わせた年間配当は、同80円（前期比10円増配）となりました。また、**株主還元充実の一環として、このたび株主優待制度の導入を決定**し、2015年9月30日現在の単元株主様から優待品の贈呈を開始させていただくこととしました。株主優待制度導入後も配当政策は従来の方針を踏襲し、安定配当を行ってまいります。
 株主の皆様におかれましては、今後とも当社事業への長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式交換及び株主優待制度の詳細については、P8をご参照ください

第47期（2015年3月期）の連結財務ハイライト



*連結財務諸表に関する会計基準の改正により、2016年3月期より「親会社株主に帰属する当期純利益」に表示変更します。

その他の財務指標については、P9をご参照ください

遊技機事業



売上高 **121,380** 百万円 前期比 14.7%増
 営業利益 **34,310** 百万円 前期比 13.9%増

当期の取り組み

ヒット機種の開発とブランド力の強化を図るため、「積極的な新規コンテンツの導入」、「オリジナルコンテンツの育成・強化」及び「新規性のあるアイデアを搭載した遊技機の開発」に取り組んだ。

業績のポイント

パチンコ機の販売台数が前期を大きく上回り、業績に寄与。

パチスロ機の試験方法の変更いち早く対応し、新試験対応機第1号となる「麻雀物語3 役満乱舞の究極大戦」を発売。

今後の見通し

「継続的なヒット機種の新規創出」、「更なる収益性の追求」及び「グループ組織力の強化」に取り組み、販売シェアの拡大及び業績の向上に努める。

パチンコ機は8機種、26万台の販売を見込み、パチスロ機は5機種10万台の販売を見込む。

● 下期販売実績

パチンコ機	販売台数	発売時期
めぞん一刻 好きなのに...	17,633台	2014年 11月
黄門ちゃま超寿 日本漫遊2700km	25,837台	2014年 12月
祭りだ! サブちゃん	3,046台	2015年 1月
燃える闘魂アントニオ猪木 格闘技世界一決定戦	34,604台	2015年 2月
下期販売台数合計*	90,231台	

パチスロ機	販売台数	発売時期
カウボーイビバップ	15,775台	2014年10月
黄門ちゃま喝	29,999台	2015年 1月
麻雀物語3 役満乱舞の究極大戦	13,807台	2015年 3月
下期販売台数合計*	59,591台	

● 通期販売実績

	実績	
	タイトル数	販売台数
パチンコ機	10タイトル	252,103台
パチスロ機	6タイトル	92,763台

*上記以外の販売機種も含んでおります。

TOPICS

もっと楽しめる未来を



パチンコ 燃える闘魂アントニオ猪木 格闘技世界一決定戦

パチンコ機としては2005年1月の初登場以来、5作目となる本機。臨場感にとことんこだわり、リング内外での攻防戦や白熱した闘いで“アントニオ猪木のプロレスの世界”を完全再現しました。また、シリーズ初の実写撮り下ろし映像により「アントニオ猪木と対面できるパチンコ機」が実現され、液晶上でプレイヤーが参戦できる演出も大きな魅力です。猪木ファン、プロレスファンも納得のいく、魂のこめられた1台となりました。



© 2015 INOKI GENOME FEDERATION.

パチスロ 黄門ちゃま喝

国民的時代劇をモチーフに、長きに渡りファンに愛され続けてきた黄門ちゃま。インパクト抜群の筐体に身を包み、激変を求めて己に、ゲーム性に、そして常識にさえも喝を入れる! 業界初となる、ゲーム数の期待度が異なるゾーンを、全6種類のモードからプレイヤー自らが選択する「印籠チャンス」を始め、多彩な演出や迫力の印籠シャッター役物等、至るところに面白さが満載です。



© C.A.U/2014



ゴルフ事業



売上高 **74,807** 百万円 前期比 2.3%増
 営業利益 **12,127** 百万円 前期比 22.4%増

当期の取り組み

中期経営計画の重点施策に基づき、「新規M&A」及び「収益の極大化」を実施。

価格戦略部門の強化による適正な価格設定により、下期の顧客単価は前年同月比で堅調に推移。

業績のポイント

ゴルフ場の新規取得により、来場者数が増加したため増収。

経費の圧縮とPGMホールディングス(株)の決算期の変更により、株主優待引当金の計上が2016年3月期にずれ込んでいるため販管費が減少し、前期比で大きく増益。

今後の見通し

「M&Aの強化」、「会員権募集の積極的推進」及び「商品価値の向上と価格戦略の徹底」を重点方針として、更なる成長を図る。

● 新規取得・スポンサー契約締結ゴルフ場

(2015年3月末時点)

新規取得	ホール数	場所
総丘カントリー倶楽部	18ホール	千葉県富津市
千葉国際カントリークラブ	45ホール	千葉県長生郡長柄町
伊勢原カントリークラブ	27ホール	神奈川県伊勢原市
大森野カントリークラブ	18ホール	神奈川県秦野市

TOPICS

Love Life. Love Golf.
ゴルフは、もっと、素晴らしい。



千葉県 首都圏でゴルフ場を積極取得 「総丘カントリー倶楽部」運営開始

2015年3月より「総丘カントリー倶楽部」(千葉県富津市)がPGMグループに仲間入りしました。「総丘カントリー倶楽部」は、フェアウェイの幅を広くとった全体的にゆったりとした造りのコースとなっており、近く東京湾を望み、晴れた日には富士山も一望できます。



会員募集の 対象ゴルフ場が拡大

PGMグループでは2015年4月より、全国71箇所のゴルフ場*で新規会員募集を行っております。正会員になると、メンバー料金でプレーできるのはもちろんのこと、月例競技会等にチャレンジできたり、土日でも優先的に予約が取れるため短期間での上達も目指せます。また、全国120以上のPGMグループのゴルフ場を優待料金でプレーできる、PGMメンバー特典「P-CAP」等もご利用できます。

*2015年4月1日現在

●最寄りの募集コース等の詳細はこちら

PGM 会員募集

検索

若木ゴルフ倶楽部 (佐賀県)

<http://www.pacificgolf.co.jp/membership/seikaiin/>

その他

情報配信サービス、サービスエリア内のレストラン及び売店の運営等を行う。

売上高 **2,417** 百万円 前期比 5.4%減

営業利益 **140** 百万円 前期比 11.8%減

*セグメント別の営業利益は、セグメント間の内部取引及び本社費用等の配賦不能営業費用を控除する前の営業利益を示しております。

「黄門ちゃま超寿 日本漫遊2700km」

▶▶ 開発者インタビュー

開発グループ 企画チーム
サブディレクター



©C.A.L/2014

20年間にわたり多くのファンに愛され続けている「黄門ちゃま」シリーズのパチンコ最新作が、革新的ギミック「ゴチ装置」を搭載し、2014年12月、リリースされました。

初代「黄門ちゃま」の復活を 印象付けさせるために

「黄門ちゃま」は、人気時代劇の世界観をベースにした馴染み易さとコミカルなキャラクターで、老若男女問わず多くのファンに支持されてきた当社の看板シリーズの一つです。本作は、1994年に登場したシリーズ第1弾の原点に立ち返り、わかりやすい勧善懲悪のストーリー展開と、「黄門ちゃま」シリーズならではの出玉インパクトを踏襲し、歴代のファンにも中高年齢層の方にも受け入れてもらえるよう、意識して開発しました。

本体の仕掛けも豪快で、おなじみの印籠、風車はもとより、ロゴが落下して、盤面を覆い尽くすほどの巨大な「宝船」が出現する役物は必見です。そして今回一番の魅力は、業界初となる「ゴチ装置」による入賞システムです。

開発にける強い想いが成功のカギ

大当り中のお得感と右打ち遊技の爽快感が特長となっている「ゴチ装置」は、チーム内で何度も試作・検証を重ねました。

実は、私は開発プロジェクトのディレクターとして途中から参加したのですが、引き継いだものを形にする

のはとても大変でした。しかし、使命感と責任感を持ちながら積極的にメンバーとコミュニケーションを図ったことで、メンバーの結束力と高いモチベーションを肌で感じることができました。

開発期間は通常より数ヶ月も長くかかり、完成に至るまで多くの困難が伴いましたが、メンバー一人ひとりのものづくりにかける強い想いによって、その高い壁を乗り越えることができ、ヒット作を生み出すことができたと思っています。

本来の大衆娯楽としての楽しみ方に 目を向けた開発へ

パチンコホール様へのヒアリングを行った際に、「稼働貢献度が平均を上回る機種だけがプレイヤーのニーズに応えている機種ではない」との声をいただき、目の覚める思いがしました。好きな時間にちょっとだけ立ち寄り、仕事帰りに気軽に遊ぶ、短時間でも充分楽しめる、そんな遊技機が昔は確かに多くありました。最近では、そんなパチンコ本来の楽しみ方が見失われつつあるのかもしれない。

今後は、プレイヤーが何を求めているかを常に見据えながら、本来の大衆娯楽としての在り方に合致するような遊技機も開発していきたいと思っています。

「麻雀物語3 役満乱舞の究極大戦」

▶▶ 開発者インタビュー

開発グループ 企画チーム
プロデューサー



©HEIWA/OLYMPIA



麻雀をモチーフにしたキャラクターが多くのファンに支持されている「麻雀物語」シリーズ。2015年3月にリリースしたシリーズ最新作では、登場キャラクターの増強とゲーム性の拡充で、楽しさを倍増させています。

「萌&燃」がコンセプトの オリジナルコンテンツ

初代「麻雀物語」は、1991年にパチンコ機として登場し、業界初のフルカラー液晶モニター搭載により、その後の遊技機業界に大きな影響を与えた当社オリジナルのコンテンツです。モチーフは麻雀ですが、麻雀のルールを知らなくても充分楽しめる内容となっていますし、パチスロ機では2005年に発売した「麻雀物語2」以降、「萌&燃」（可愛い＝「萌え」と、熱い＝「燃え」の両方をかけています）をコンセプトに、登場キャラクターの魅力と熱いバトルの要素を大きく打ち出しています。

当社のオリジナルコンテンツとして、同じくキャラクターが魅力の「戦国乙女」シリーズに並ぶ人気作に育てていきたいですね。

麻雀物語の魅力伝えるこだわりの クオリティと徹底的なゲーム性の追求

本作では、登場キャラクターの数を大幅に増やしましたが、作画のクオリティは落とさず、また、「サイコロタッチセンサー&パイプ」やキャラクターフィギュアが付いた専用筐体の完成度にも徹底的にこだわりました。

た。もちろんゲーム性にも一切妥協はせず、レア役（成立確率の低い小役）の先読み機能を導入し、きっかけのきっかけを作っておけることで予告や演出の幅が拡がり、期待感を高め、ワクワクする楽しさを膨らませることができました。

携帯電話・スマートフォンとの実機連動サービス「打-WIN」では、選択できるキャラクターの多さに加え、ナビ音声や、大当り中の楽曲までカスタマイズできるので、ファンの満足度向上にも貢献しています。

自分たちが遊技したいと思える 遊技機づくりを大切に

遊技機づくりは、プレイヤーに楽しんでいただくことはもちろんですが、開発する自分たちが実際に遊技したいと思えることが大切です。そして、チームあつての開発プロジェクトなので、開発に携わっているメンバー全員への感謝を忘れず、「自分たちは良いものづくりをしている」という意識を共有しながら、これからも自信を持って、当社の代表作と言えるような遊技機を開発していきたいですね。

～夢のある開かれた日本最大のプロゴルフトーナメントを目指して～



「HEIWA・PGM CHAMPIONSHIP」開催

第3回大会の会場は総武カントリークラブ

第3回目となる「HEIWA・PGM CHAMPIONSHIP」は、過去2回開催した「美浦ゴルフ倶楽部」（茨城県稲敷郡美浦村）から「総武カントリークラブ 総武コース」（千葉県印西市）へ会場を移しての開催となります。

前回大会に引き続き、プロゴルファーのみならず若手ゴルファーやアマチュアゴルファーにも、特別推薦枠を設け、将来の日本のゴルフ界を背負う人材の発掘・育成を行う環境を提供しています。

2015年度開催概要

大会名称	「HEIWA・PGM CHAMPIONSHIP」
主催	株式会社平和、PGMホールディングス株式会社
主管・共催	一般社団法人日本ゴルフツアー機構
開催期日	2015年11月5日（木）～11月8日（日）
開催場所	総武カントリークラブ 総武コース
賞金総額	2億円/優勝賞金4千万円

PGMホールディングス(株)と株式交換契約を締結

当社とPGMホールディングス(株)は、2015年5月13日に、当社を完全親会社としPGMホールディングス(株)を完全子会社とする株式交換契約を締結いたしました。PGMホールディングス(株)を完全子会社とすることにより、これまで以上に両社間の強固な協力体制を構築するとともに、親子上場関係を解消し、中長期的なPGMホールディングス(株)の成長戦略を迅速な意思決定のもとで実現してまいります。これにより、PGMホールディングス(株)における更なる収益力の強化及び企業価値の向上を図り、ひいては当社グループ全体の企業価値向上に向けてグループ一丸となって邁進してまいります。

●株式交換比率

PGMホールディングス(株)の普通株式1株に対して、当社の普通株式0.54株を割当交付いたします。本株式交換に伴い、当社が割当交付する株式は全て自己株式にて対応する予定です。

●株式交換の方法・時期

本株式交換については、2015年6月23日開催のPGMホールディングス(株)の定時株主総会において本株式交換契約の承認を得たうえで、2015年8月1日を本株式交換の効力発生日として行う予定です。なお、当社においては、本株式交換を当社の株主総会の承認を必要としない簡易株式交換の手続きにより行う予定です。

株主優待制度を導入しました

株主の皆様当社グループが展開する事業への理解を深めていただくとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に当社株式を保有していただくことを目的とし、株主優待制度を新たに導入いたしました。2015年9月30日現在の当社株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有する株主様を対象として開始いたします。

優待内容	当社グループが運営するゴルフ場で、平日及び指定月の土日祝日のプレー料金から1枚につき1名様のみ最大3,500円割引となる優待割引券を、株主様の保有株数に応じて贈呈いたします。割引対象となるプレー料金は「グリーンフィ・諸経費・カートフィ及びこれらにかかる消費税」となります。
贈呈回数	年2回
贈呈枚数	●100株以上200株未満：2枚/1回 ●200株以上300株未満：4枚/1回 ●300株以上400株未満：6枚/1回 ●400株以上：8枚/1回
対象株主様	①2015年9月30日現在の当社株主名簿に記載された1単元(100株)以上を保有の株主様 ②2016年3月31日現在の当社株主名簿に記載された1単元(100株)以上を保有の株主様
優待利用可能期間	①2016年1月1日～2016年12月31日 ②2016年7月1日～2017年6月30日 ※土日祝日利用は1月・2月・7月・8月のみ(2016年1月1日を除く)。 ※北海道内各ゴルフ場、中央道晴ヶ峰カントリー倶楽部の土日祝日利用は、10月から冬季クローズまでと、冬季クローズ後の春季オープンから5月までとなります。

連結財務諸表(百万円)

連結貸借対照表

	2014年3月期	2015年3月期
資産の部		
流動資産	148,086	162,023
固定資産	290,420	285,810
資産合計	438,506	447,833
負債の部		
流動負債	69,216	68,299
固定負債	212,787	201,264
負債合計	282,003	269,564
純資産の部		
株主資本	141,129	161,855
その他の包括利益累計額	1,642	1,261
新株予約権	73	52
少数株主持分	13,656	15,100
純資産合計	156,502	178,269
負債純資産合計	438,506	447,833

連結キャッシュ・フロー計算書

	2014年3月期	2015年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,304	40,511
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,424	△31,322
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,069	△20,774
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	6
現金及び現金同等物の増減額	7,816	△11,577
現金及び現金同等物の期首残高	47,189	55,005
現金及び現金同等物の期末残高	55,005	43,428

連結損益計算書

	2014年3月期	2015年3月期
売上高	181,570	198,605
売上原価	108,565	119,216
売上総利益	73,004	79,388
販売費及び一般管理費	36,095	36,517
営業利益	36,909	42,870
営業外収益	1,761	1,319
営業外費用	3,265	2,130
経常利益	35,405	42,059
特別利益	3,002	2,464
特別損失	2,801	885
税金等調整前当期純利益	35,606	43,638
法人税等	14,028	16,029
少数株主利益	1,216	1,372
当期純利益	20,361	26,235

▶より詳細なデータについては当社サイト「IR情報」ページをご参照ください。



平和 IR 検索 http://www.heiwanet.co.jp/ir/ir_top.php

主な増減要因の解説

■資産の増加

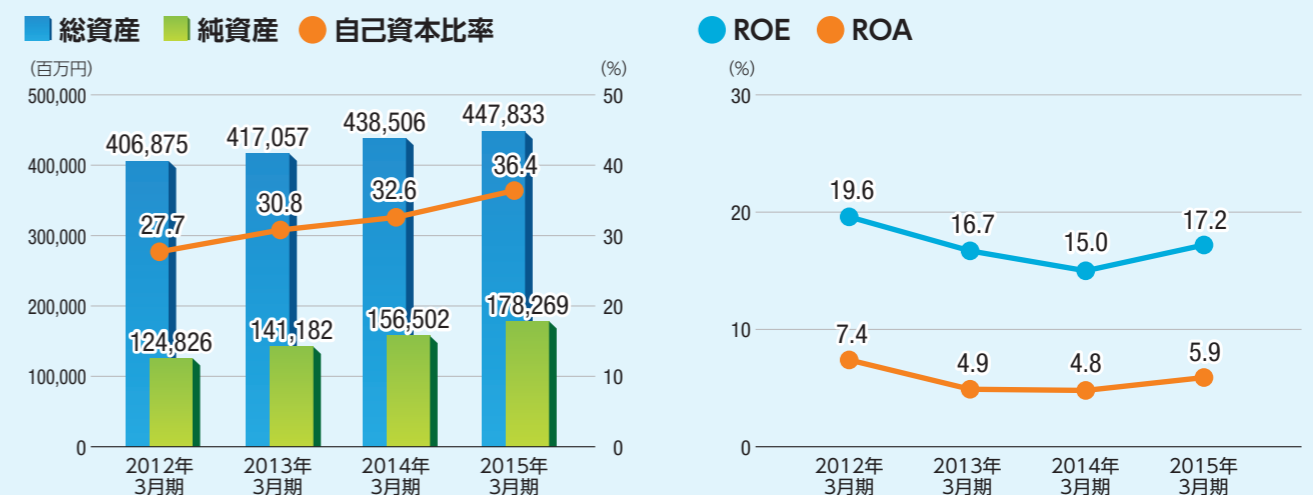
主に投資有価証券の減少により固定資産が4,609百万円減少したものの、現金及び預金並びに有価証券の増加等により流動資産は13,937百万円増加し、総資産は9,327百万円増加しました。

■自己資本比率の向上

借入金の返済等により負債が12,439百万円減少した一方、純資産は21,767百万円増加しました。その結果、自己資本比率は、3.8ポイント上昇し、36.4%となりました。また、有利子負債比率は22ポイント改善し96%となり、100%を切りました。

資産関連指標の推移

←売上高・利益の推移については、P2~3をご参照ください



※ROE(%) = 当期純利益 / 期首・期末平均自己資本 × 100
※ROA(%) = 当期純利益 / 期首・期末平均総資産 × 100